

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ここりっと		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 27日		2026年 3月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2026年 2月 27日		2026年 3月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の共通理解を持った支援を行うために活動プログラムや日々の支援について、職員同士の共有を密に行っています。支援前後の打合せや振り返りを通して、内容や役割分担、気づきの共有に努めています。	支援前には、その日の流れや役割分担を確認し、支援後にはこどもの様子や気づきを共有しています。活動内容についても、主担だけでなく児発管を含めた複数の職員で意見を出し検討しています。日々の小さな変化も共有し、支援の方向性にずれが出ないよう意識しています。	打合せや振り返りで共有した内容を、より見返ししやすい形で整理していきたいと考えています。また、新任職員を含めて支援意図が伝わりやすい体制づくりを行いたいと考えています。
2	こどもの状況や発達段階に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせながら支援を行っています。その日の様子や課題に応じて、無理のない参加の形を検討するよう心がけています。	集団活動への参加が難しい場合には、個別の関わりなど工夫して柔軟に対応しています。個別活動だけに偏らず、他児との関わりを経験できる機会も意識して設けています。支援計画と日々の様子の両方を踏まえながら、支援内容を組み立てています。	事業所内外で研修会の参加機会を増やし、より専門的な視点からこどもの特性を理解していけるようにしたいと考えています。研修で得た学びを職員間で共有するなどして、日々の支援に活かせるよう工夫していきます。より一人ひとりに合った支援の充実につなげていきたいと考えています。
3	定期的なモニタリングを通して、こどもの状況や支援の経過を丁寧に確認することを大切にしています。日々の様子や変化を踏まえながら、支援計画が実態に合っているかを見直すよう努めています。	日々の支援記録や職員間での共有をもとに、こどもの変化や課題を継続的に確認しています。モニタリングの際には、事業所での様子だけでなく、保護者からのお話も踏まえて支援内容を整理しています。	今後は、標準化された検査の結果も参考にしながら、より専門性の高い支援計画につなげていきたいと考えています。あわせて、関係機関との情報共有をより密に行い、多角的な視点でこどもの支援を検討できるよう努めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他のこどもと活動する機会がない	児童館等との関係構築ができていないためかと思えます。	現状、児童館や地域のお子さまと関わる機会はありませんが、今後イベント等を企画していきながら関わる機会を作っていければと思います。
2	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル、その他子育てや発達に関する情報発信など、保護者に周知しきれていない	各種マニュアルや情報については事業所内では確認を行っているものの、保護者の皆様への周知の方法や機会が十分とは言えなかったと考えています。また、日々の連絡や個別対応を優先する中で、全体へのわかりやすい発信まで十分に行き届いていない面がありました。	必要な情報について、保護者の皆様にわかりやすくお伝えする方法を見直していきたいと考えています。おたよりやアプリ等も活用しながら、内容に応じた周知の工夫を進めてまいります。
3	ご家族が参加できる保護者会、研修会、ご家族同士の交流の機会が少ない	今年度は一度のみの保護者会であったため、参加できていない保護者の方も多くいました。	ご家族の負担感にも配慮しながら、参加しやすい形で保護者会や研修会、交流機会を検討していきたいと考えています。